

令和2年8月吉日

一般社団法人日本災害看護学会
会員 各位

一般社団法人 日本災害看護学会
理事長 酒井 明子

一般社団法人 日本災害看護学会 第22回総会中止のご連絡

時下、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

令和元年度は新型コロナウイルス感染症が世界的に拡大し、人々の生活への影響が今なお続いております。新型感染症という予防法・治療法が確立されていない中で、日常生活や医療をはじめとする様々なサービスへの影響の大きさに戸惑われた方も多いのではないかと存じます。そのような中、この新型感染症に懸命に立ち向かわれた医療従事者の皆様には心より感謝申し上げます。

本学会は、阪神・淡路大震災と地下鉄サリン事件での看護支援活動の経験から、「災害看護学の知識や実践の体系化をはかり、災害看護学の発展を通して、人々の生活と健康に寄与すること」を目的として、1998年に発足致しました。その後も、日本をはじめ世界各地でさまざまな災害が発生しており、多様化・巨大化する災害に対して災害看護学の重要性は増しております。この度のような新型感染症も人々の「暮らし」「いのち」への影響から「災害」として認識しております。現在、各地で水害が発生しており、この新型感染症を踏まえますと、災害看護の側面から立ち向かわねばならない課題が多々ございます。今後も皆様のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

さて、例年であれば、年次大会に合わせて、総会を開催するところではございますが、先般の新型コロナウイルス感染症の拡大により、第22回年次大会はWEB開催となりました。それに伴い、第22回総会は感染症予防の観点からも皆様にお集まりいただくことが難しく、中止することといたしました。ご理解を賜りますようお願い申し上げます。